

令和4(2022)年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

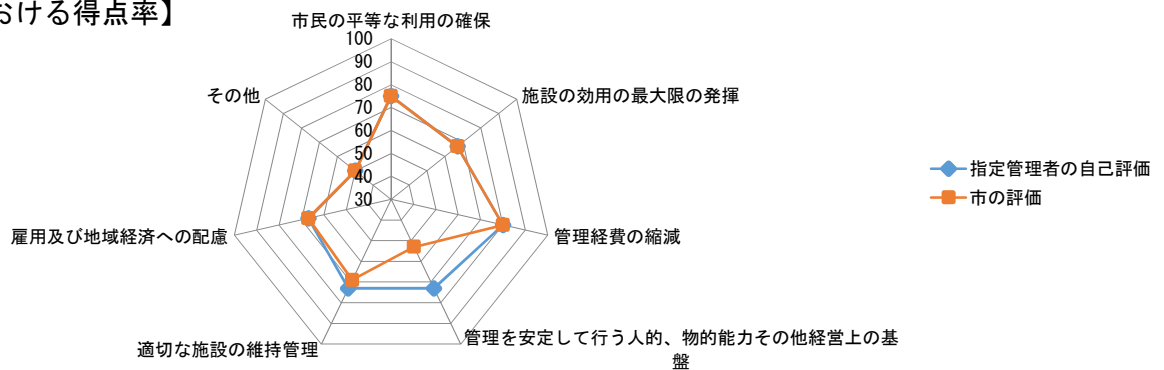
Table with columns: 施設名称, 施設所在地, 指定期間, 施設区分, 事業実施型, 評価項目, 評価基準, 配点(標準点), 指定管理者自己評価, 自己評価コメント, 市評価, 市評価コメント, 特記事項. Rows include categories like I 市民の平等な利用の確保, II 施設の効用の最大限の発揮, III 管理経費の縮減, IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤, V 適切な施設の維持管理, VI 雇用及び地域経済への配慮, VII その他.

	実 績					合計
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	
指定管理料（千円）	0	0	0	0	0	0
利用料金収入（千円）	44,239	42,883	40,844	44,995		172,961
利用者数（人）	5,614	5,481	5,392	5,505		172,961
二次評価（市の評価）	C ⁺	C ⁺	C ⁺	C ⁺		
備 考						

サービス向上対策

送迎に関してマイクロバス・ワゴン車・軽自動車の3台を駆使し、利用者の希望に添う送迎に努め、乗車時間の短縮にも配慮した。通年、作業を中心とした支援を行うとともにスポーツ・学習活動の他、花見・クリスマス会等の季節の行事を行った。コロナ禍で外出も制限があったが、秋の旅行を楽しむなど安全確保を図りながら利用者を楽しんでもらえるような工夫を行った。逢瀬町地内の畑でサツマイモ・枝豆等を収穫し、苗植えから収穫の楽しみを一緒に味わった。また、買い物学習を通して、近隣住民との総理解を深めた。

【各評価区分における得点率】



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
B	70	<p>【総合評価（評価できる点等）】 仕様書に基づき適正な職員配置を行い、管理運営を行った。職員の資質の向上のためコロナ禍ではあるが積極的な研修参加を目指し、虐待防止に係る内部研修も行った。運営に関しては利用者の平等利用の確保に努めアウトプット240日はクリアした。また、法定検査・定期検査など施設の維持管理を適正に行った。また修繕については適宜対応した。事業に関しては利用者の安全確保を第一とし、個別目標に合わせた支援を行った。送迎についてはマイクロバス・ワゴン車・軽自動車の3台を使用し利用者の要望に対応するように心がけ乗車時間の短縮を図った。日々の目標として軽作業を行い、工賃として作業収入を分配し、作業意欲につながるように努めた。給食は栄養バランスがとれた温かい食事を提供することにより食生活の向上を図った。買い物学習や地域活動、清掃活動での挨拶などを通して、地域の方との相互理解を深めるように努めた。</p> <p>【次年度に向けて改善が必要な点】 利用登録者数は34名となっているが、長期欠席者が含まれているため新たな利用者開拓が必要となっている。支援学校の実習生を対象として新規利用者の確保を行っていききたい。</p>

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
C ⁺	66	<p>【総合評価（評価できる点等）】 利用者の確保に向けて、支援学校と連携し、何度も体験利用を実施し、施設での支援内容とのマッチングを行っている。また、施設近隣の清掃活動や、近隣のコンビニでの買い物実習など積極的に地域との交流を図っている。送迎も利用者の障害特性に応じ、対応を図っている。コロナウイルス感染拡大予防に努めながらレクリエーションを実施するなど工夫がみられる。</p> <p>【次年度に向けて改善を望む点】 昨年度に引き続き、利用者増加と収入確保の取り組みが必要である。</p>

【改善のための行動計画】

行動計画
<p>【前年度の指摘事項】 昨年度に引き続き、利用者増加と収入確保の取り組みが必要である。</p> <p>【改善対応状況】 新規利用者の確保が一番の課題となっているが、施設の特性と利用者のニーズの一致が重要となってくる。支援学校や相談支援事業所との交流を行い新規利用者獲得をアプローチする。</p>